

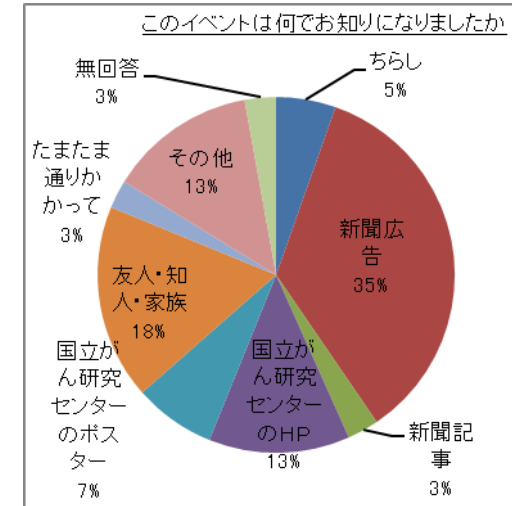
来場者アンケート結果

- 調査期間 平成 24 年 9 月 15 日、16 日
- 対象者 国立がん研究センター創立 50 周年記念イベント来場者のうちプログラムを配布した 1,600 人
- 回答者数 15 日 138 人、16 日 213 人 計 351 人 [有効回答率 351/1,600 人 (22%)]

Q1. このイベントは何でお知りになりましたか

・イベントの認知経路は、「新聞広告」が最も多く 123 人(35%)、次いで「口コミ」62 人(18%)、「がん研究センターHP」45 人(13%)、「その他」47 人(13%)、「がん研究センターのポスター」26 人(7%)、「ちらし」19 人(5%)、「新聞記事」10 人(3%)、「たまたま前を通りかかって」9 人(3%)の順です。

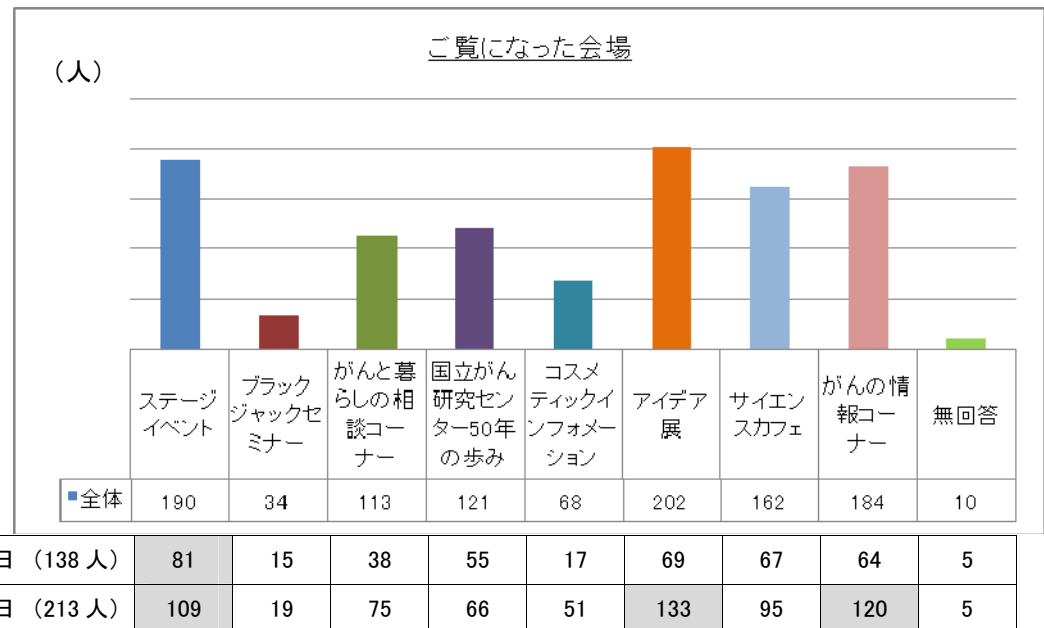
・「その他」回答の内訳は、「NHK ニュース」(12 人)、「テレビ」(5 人)など。



Q2. ご覧になった会場をお知らせください

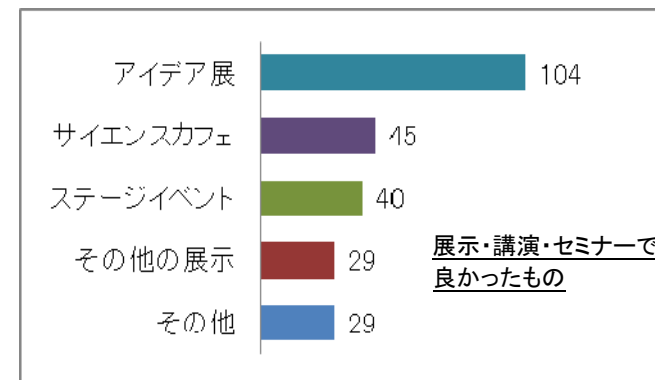
・全体では、「がん患者さんの暮らし広がるアイデア展」が最も高く 202 人(58%)、次いで「ステージイベント」190 人(54%)、がんの情報コーナー(冊子・パンフレット・絵画展示)184 人(52%)、「キャンサー・サイエンス・カフェ」162 人(46%)。

・日にち別にみると、15 日は「ステージイベント」81 人(59%)、16 日は「アイデア展」133 人(62%)、「がんの情報コーナー」120 人(56%)、「ステージイベント」109 人(51%)の観覧率が高くなっています。



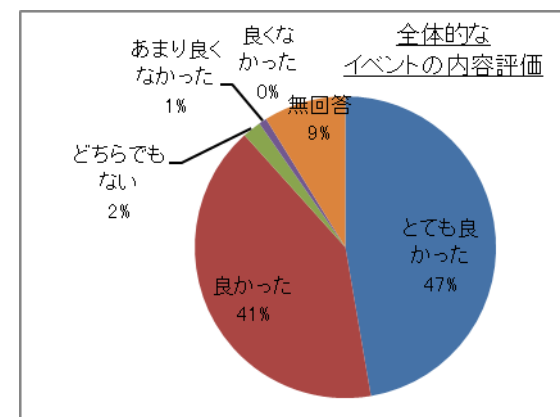
Q3. ご覧になった展示・講演・セミナーの中で「良かった」と思われた情報 (O.A.)

- ・自由記述で多かった回答は、「がん患者さんの暮らし広がるアイデア展」(104人)、「キャンサー・サイエンスカフェ」(45人)、「ステージイベント」(40人)に関するものです。
- ・ステージイベントについては、「オープニングセレモニー」「スター混声合唱団」「がん検診の講習会」「がんを遠ざける生活習慣セミナー」が好評でした。
- ・その他展示では、「がんと暮らしの相談コーナー」「コスメティックインフォメーション」「ブラックジャックセミナー」が好評でした。
- ・全体的な感想では、「いろいろな展示・情報があった」「展示が見やすい」「スタッフの方が親切」「熱心に対応してくれた」など。



Q4. 全体的なイベントの内容評価

- ・「とても良かった」166人(47%)、「良かった」144人(41%)で、約9割の回答者が「良かった」と評価しています。



Q5. イベントをご覧になった感想 * 一部を抜粋して掲載 ()内プロフィールは、回答者のみ記入

【患者さんの感想】

- ・これから手術を控えているいろいろな参考になりました(70代・女性)
- ・がん治療中で少し疲れを感じていた時に、とても元気をいただきました(60代)
- ・がん患者でありながら、がんのこと(発症の仕方、増殖の仕方、防ぎ方)をよく分かっていなかった(60代・男性)
- ・がんと暮らしの相談コーナーで相談にのっていただきました。得ることが多く、不安も少し消えました(30代・女性)
- ・化粧の仕方、明るく見せる方法が参考になった。靴の機能性について履いて歩いてみて実感できた(70代・女性)
- ・補助食品を探していたので、とても参考になりました(50代・女性)
- ・キャンサーサイエンスカフェで色々質問に答えてもらい疑問が解けた。腫瘍マーカーについて詳しく聞くことができてよかった(30代・女性)
- ・スタッフ全員の熱心さが伝わってきた。関係者全員の思いに感動しました(60代・男性)

【患者家族の感想】

- ・ここに来て沢山の方に支えられているということを感じました。家族と本人とみんなで、今日知ったことについて情報共有すること、それが今後治療を続けていく上で前向きになれる(30代)
- ・患者が必要としている日用品の展示、試供品があり、今まで困っていた部分が質問できて日常生活に大いに役立った(60代・女性)
- ・アシックスのウォーキング講座、飲み込みにくい人の食品の紹介、生活補助商品の紹介(40代・女性)
- ・パンフレット類が多くあったので参考になった。実際の医療機器を見ることができて良かった(50代・女性)
- ・がんサイエンスカフェ。顕微鏡を見ながら丁寧に説明を聞くことができた。病理のことがわかってとても良かった(30代・女性)
- ・国立がん研究センターにかかっていない人、今健康な人もこのように訪れて予防や治療の励みにできる開かれたイベントは大変よいと思います(40代・女性)
- ・外来や入院のためだけに来ると思っていたが、このようなたくさんのイベントを見ることができ気持ちが楽になりました(60代・女性)
- ・2歳と5歳の子どもも顕微鏡など楽しんでいました。また機会があったらこういうものに触れさせたい(30代・女性)

【医療従事者の感想】

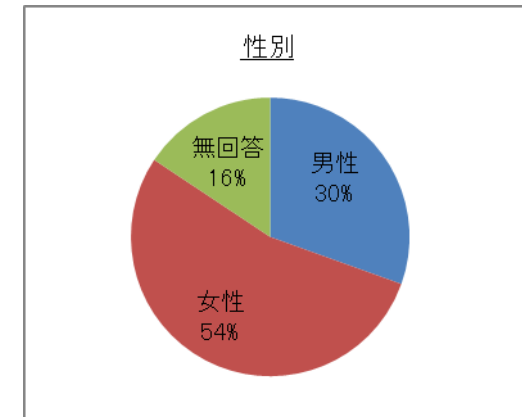
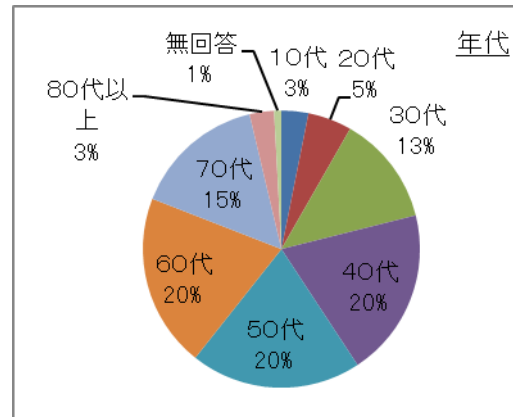
- ・がんに対する意識が変わった(50代・女性)
- ・ささえあうコーナーを見たいと思って来ました。患者さんや家族が日々直面している困っていること、医療者がどのようにどこまでサポートできるのか考えていきたいと思います。こうしたことにスタッフの皆さんが取り組まれることが大切なのだと感じました(50代・女性)
- ・ケモ中の食事、スキンケアの話(20代・女性)
- ・入院中や退院時の指導には限界があり、今回のように具体的な展示やアイデアを見られるのは、生活に沿っていてとてもよかった(20代)
- ・会場が目的別になっており分かりやすかった。スタッフが熱心で前向きにがんと闘える気持ちになると思った(50代)
- ・とても素晴らしい取り組みをされていると感じました。活動だけでなくQOLを向上させる努力に感銘を受けました(50代・男性)

【一般の方の感想】

- ・がんについて身近になりました(50代・男性)
- ・がん＝死と考えていたが、治療法、器具の進歩をみて早期に見つければ治るものと感じた(60代・男性)
- ・いつでもかかる可能性があるが、あまり理解していないことが多い。一方、実際のがん患者でないのでここに来ることがない。こうしたイベントでここがこういう所で、どういう取り組みをしているのかが分かり、理解が深まりやすい。ここを見てみたいと前々から思っていたので良かった(50代・女性)
- ・癌＝良・明(60代・女性)
- ・初歩的なことから生活ケアまで、ていねいに説明していた。がんサイエンスカフェでは詳しく説明していただき分かりやすかった(30代・男性)
- ・がん研究センターのイメージが変わった(70代・女性)
- ・このようなイベントの回数を増やしてほしい(50代・男性)

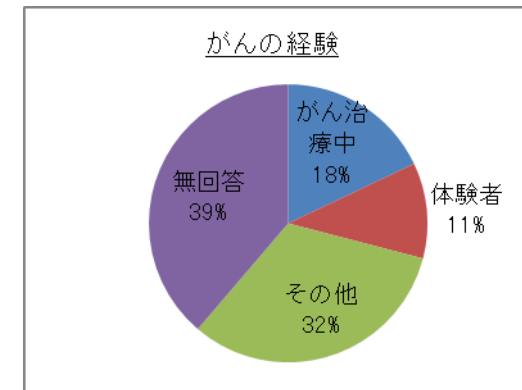
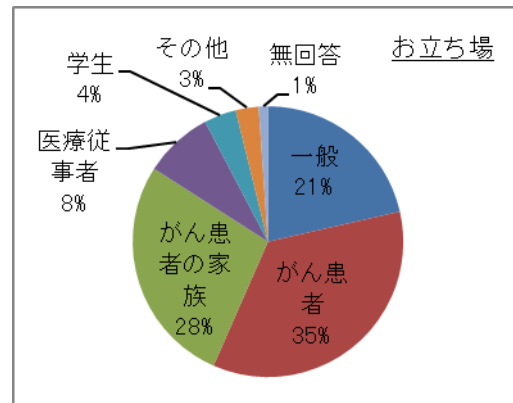
回答者プロフィール

・回答者は40～60代が中心、半数以上が女性。

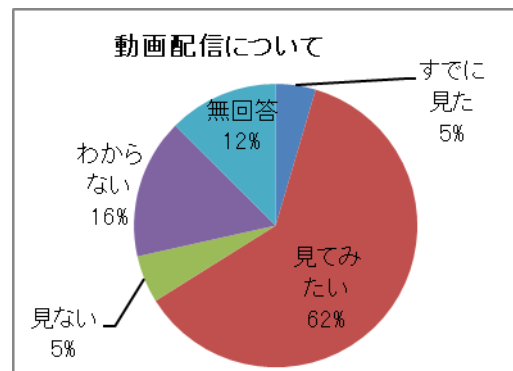


・回答者のお立ちは「がん患者さん」128人(37%)、「患者家族」100人(29%)、「一般」78人(22%)、「医療従事者」30人(9%)、「学生」14人(4%)、「その他」10人(3%)。

* グラフは100%に自動調整するため、上記表示と異なります。



・がん経験については、回答者の約6割(215人)が回答。「がん治療中」の方63人(18%)、体験者39人(11%)、その他113人(32%)。



・動画配信については、216人(62%)の人が「見たい」。来場前に「すでに見た」も16人(5%)。